

事前評価個表

整理番号	3
------	---

地域（地区）名	つがる 津軽	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	青森県	対象市町村	ひろさきし 弘前市ほか10市町村
事業実施期間	H29 ～ H33（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、青森県の西部に位置し、森林面積は212千ha（森林率63%）であり、そのうち対象民有林は53千ha（森林全体の25%）、うち人工林は29千ha（人工林率55%）であり、年齢構成においてはⅨ～Ⅹ年齢級がピークとなっている。</p> <p>本地区内では、間伐等の整備の遅れから樹木の生育不良や林床植生の衰退による土壌流出が見られるほか、豪雨時の山腹崩壊や不安定土砂の堆積により汚濁水の流下が見られる。</p> <p>このため、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、林産物の供給など森林が有する多面的機能の発揮のために、間伐など効率的な森林整備の促進が求められている。</p> <p>本県では、市町村森林整備計画に基づき、森林整備を計画的に推進するとともに、森林吸収源対策として特定間伐等及び特定母樹の増殖の実施の促進に関する基本方針に基づき間伐等を促進し、さらに県が策定した青い森造林推進プランに基づき再生林による森林資源の循環システムの構築を図ることとしている。</p> <p>本地区に基づく森林施業の推進に当たっては、森林施業の集約化や路網整備、低密度植栽や一貫作業システムの導入など施業の低コスト化を着実に図りながら、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させ、間伐材等の利用を通じて資源循環型社会の構築を目指している。</p> <p>このため、津軽地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、意欲と実行力を有する林業事業者等による、集約化された計画的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>具体的には、本計画に基づき、本事業による効率的な施業に不可欠な森林作業道の整備と搬出間伐や再生林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：7,910ha 人工造林、樹下植栽、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐、更新伐等</p> <p>総事業費：5,673,285千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.28 (総便益(B) = 34,095,081千円、総費用(C) = 7,964,965千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるとともに、森林吸収源対策として事業実施は必要不可欠である。</p> <p>効率性：費用対効果分析結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林整備による水源の涵養、土砂流出の防止、地球温暖化の防止、多様な森づくりによる生物多様性等公益的機能の維持増進の観点、森林資源の有効活用の観点から有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

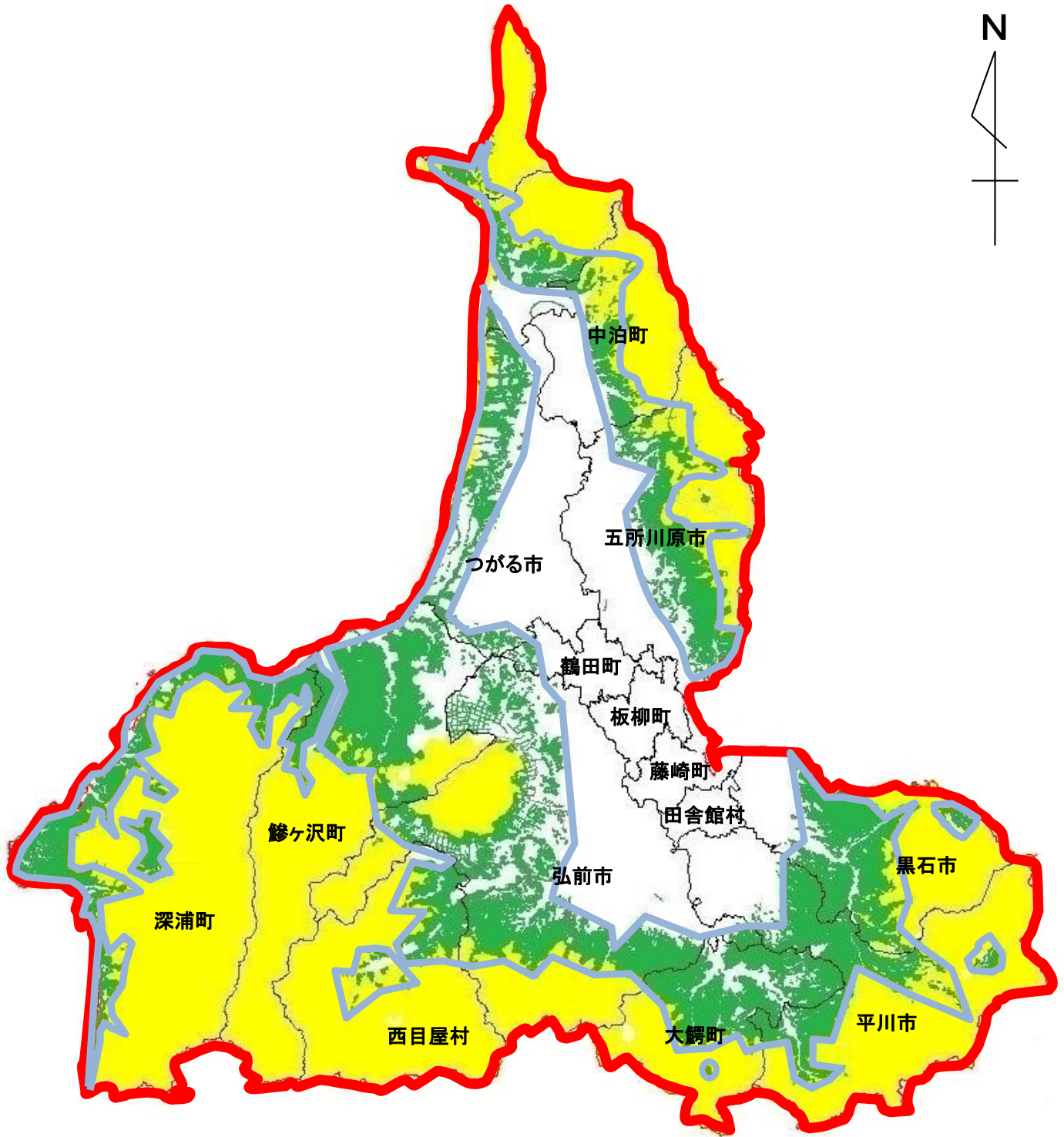
都道府県名:青森県

地域(地区)名:津軽^{つがる}

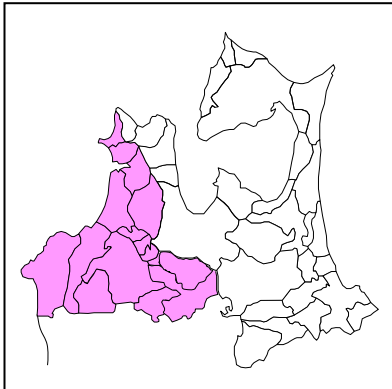
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	8,777,241	
	流域貯水便益	2,023,648	
	水質浄化便益	4,411,176	
山地保全便益	土砂流出防止便益	11,119,532	
	土砂崩壊防止便益	17,042	
環境保全便益	炭素固定便益	7,746,442	
総 便 益 (B)		34,095,081	
総 費 用 (C)		7,964,965	
費用便益比	$B \div C = \frac{34,095,081}{7,964,965} = 4.28$		

森林環境保全整備事業 津軽地域(青森県)概要図



青森県内での位置



凡例	
計画区域	
事業区域	
森林整備	